

LB 会報



2009年11月 No.5 (東都1部復帰決定記念号)

一般社団法人東大LB会機関紙

編集責任者 樋口周嘉、手島直幸、吉澤伸明

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学運動会ア式蹴球部内

東大ア式蹴球部 東京都大学リーグ1部復帰を決める

2009年度の東京都大学サッカー連盟2部リーグ戦は、8月30日から10月25日まで行われ、東京大学は、6勝1敗2分けの勝ち点20で、帝京大学に1点及ばず2位でしたが、規定により来年度の1部への昇格を決めました。

序盤は、第1戦の桜美林と△、第2戦の山梨大に○、第3戦の首都大に●と、応援のLB諸兄をやきもきさせる試合ぶりでした。第4戦の東京外大の5-0での○からムードが変わりました。第5戦の日大生資に4-1で○としたところで得点力の東大というイメージが出てきました。第6戦は最強と目される帝京大でこれは0-0の△でした。

終盤は好調を持続し、第7戦の成城大に6-2で○、第8戦の明学大には1-0で○、第9戦の上智大を5-1で○として、長いリーグ戦を戦い終えました。(各試合での戦いぶりについては後に詳述しております。)

9試合で得点27と2部随一の得点力で、昨年度(得点18、リーグ戦4位)から飛躍的にアップした感があります。FWの久木田紳吾【3年・熊本】は14点で得点王です。優勝した帝京大学は得点19と東大に劣るものの失点3であり、東大の失点10と比べ、ディフェンス力は際立っていました。

来年1部で戦う東大の課題は、得点力のさらなる向上とバランスのとれた防御力の整備と思われます。

(文責:手島)

◆ 2009年度東京都大学サッカー2部リーグ戦成績

順位	チーム	勝点	試合数	勝	負	引	得点	失点	得失点
1	帝京大学	21	9	6	0	3	19	3	16
2	東京大学	20	9	6	1	2	27	10	17
3	明治学院大学	15	9	4	2	3	15	8	7
4	成城大学	15	9	4	2	3	20	14	6
5	上智大学	14	9	4	3	2	19	17	2
6	首都大学東京	13	9	4	4	1	14	20	-6
7	山梨大学	11	9	3	4	2	12	14	-2
8	桜美林大学	8	9	2	5	2	14	21	-7
9	日大生物資源科学部	7	9	1	4	4	11	19	-8
10	東京外国語大学	0	9	0	9	0	8	33	-25

◆ 星取表

	チーム	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	勝点
A1	帝京大学	-	0△0	1△1	2○0	2○1	4○0	0△0	2○0	5○0	3○1	21
A2	東京大学	0△0	-	1○0	6○2	5○1	2●3	2○1	2△2	4○1	5○0	20
A3	明治学院	1△1	0●1	-	1△1	4○1	1●3	3◎0	3○0	0△0	2○1	15
A4	成城大学	0●2	2●6	1△1	-	1△1	5○0	2△2	3○1	1○0	5○1	15
A5	上智大学	1●2	1●5	1●4	1△1	-	2○0	5○0	3○2	1△1	4○2	14
A6	首都大学	0●4	3○2	3○1	0●5	0●2	-	1○0	0●3	2△2	5○1	13
A7	山梨大学	0△0	1●2	0×3	2△2	0●5	0●1	-	4○1	2○0	3○0	11
A8	桜美林大	0●2	2△2	0●3	1●3	2●3	3○0	1●4	-	3△3	2○1	8
A9	日大生資	0●5	1●4	0△0	0●1	1△1	2△2	0●2	3△3	-	4○1	7
A10	東京外大	1●3	0●5	1●2	1●5	2●4	1●5	0●3	1●2	1●4	-	0

◎:不戦勝 ×:不戦負

◆ 出場選手、得点者、アシスト

		東京都大学リーグ2部								
相手	京大	桜美林	山梨大	首都大	東外大	日生大	帝京大	成城大	明学大	上智大
GK	藤安	藤安	藤安	藤安	藤安	藤安	藤安	藤安	藤安	藤安
DF	大内	大内	大内	大内	大内	大内	大内	大内	大内	大内
	田中 (高木) 南田 道喜 (江連)	白井 高木 道喜	白井 高木 道喜	白井 高木 道喜 (江連)	白井 佐藤 村上	白井 (高木) 佐藤 村上	佐藤 村上 高木	(古賀) 白井 (高木) 佐藤 村上	白井 佐藤 村上 (南田)	白井 (高木) 佐藤 村上 (南田)
MF	吉田	森元	森元	森元 (松谷)	森元	森元	森元	森元 (松谷)	森元 (松谷)	森元
	森元	吉田	吉田	吉田 (佐藤)	吉田 (松谷)	道喜	吉田	吉田	吉田 (高木)	吉田 (松谷)
	宮川 (松谷) 久保 (村上)	宮川 (南田) 久保	宮川 (南田) 久保	南田 (村上) 久保 (古賀)	久保 (古賀) 道喜 (南田)	南田 (加賀田) 古賀	道喜 宮川	宮川 (加賀田) 道喜 (南田)	宮川 (加賀田) 道喜 (久保)	宮川 (加賀田) 道喜 (久保)
FW	後藤 (三浦) 久木田	久木田	久木田	久木田	久木田	久木田	久木田	後藤 (三浦) 久木田	久木田	久木田
		三浦	三浦 (後藤)	三浦	三浦 (後藤)	後藤 (三浦) (野中)	古賀		三浦 (後藤)	三浦 (後藤)
得点者	宮川 三浦	久木田 道喜	久木田 吉田	久木田 三浦	久木田2 森元2 後藤	久木田4		久木田3 後藤2 三浦	後藤	久木田2 三浦 加賀田 後藤
アシスト	吉田 道喜		三浦	三浦 久保	三浦 道喜 久木田 村上	古賀 大内 森元		道喜 森元 宮川 大内 吉田 久木田		森元2 三浦 加賀田

◆ リーグ戦観戦記

現役が各試合後に発信している東大ア式メールマガジンから、リーグ戦各試合の様子を抄録しました。

【第1戦 8月30日御殿下 △ 2-2(2-0) 桜美林大学】

(前半) 桜美林のとにかく前線の9番をめぐってボールを蹴るサッカーに苦戦しつつも、21分久木田が抜け出して、ゴールキーパーをかわし得点。それから少しずつ東大に流れが向き、33分道喜がペナルティエリアで倒され、PK。これを道喜が落ち着いて決め、2点目。

(後半) 開始僅か3分でCBのバックパスミス桜美林にとられ、失点。ここから東大の不調が始まる。DFがクリアしてもほとんど桜美林が拾う。また、FWの裏へ蹴ってもオフサイド。もはや攻め手はなくなり、苦しい試合を強いられる。そして、44分。左サイドでのファウルからのフリーキックに桜美林が合わせ、失点。まさかのドローで試合終了。

【第2戦 9月6日御殿下 ○ 2-1(1-1) 山梨大学】

(前半) 試合開始前、無失点を意識して挑んだにもかかわらず、たった4分で失点。直後に久木田がうまくゴールを決め、試合を振り出しに戻した。流れはだんだん東大に傾くが、前半は1-1のままハーフタイムを迎える。吉田、大内がイエローカードをもらってしまった。

(後半) 後半開始直後、主将吉田がゴール前のルーズボールをゴール右側に冷静に決め、勝ち越しゴール。決めるところは決めると、流れは一気に東大に。決定的なチャンスをいくつか決められず、劣勢になるもなんとか守りきり、貴重な勝ち点3を得る。

【第3戦 9月13日御殿下 ● 2-3(2-1) 首都大学東京】

(前半) 15分、久木田が相手DFとゴールキーパーの間に落ちたボールをひろい先制点。34分久保が相手のDF陣の裏に絶妙なスルーパス、これを三浦が冷静に決めて追加点。40分、相手の中盤でフリーになった選手のロングシュートがバーに当たり、こぼれた所を押し込まれて失点。

(後半) 後半開始後たったの1分、中盤とDFとのマークがずれ、ほんの一瞬相手の28番がボールを前向

きで受けた。普通ならば入らないであろう位置、打たないであろう位置からシュート。これがきれいな弧を描きゴール。この失点により勢いを失い始めた東大。膠着状態が続く中、28分に左サイドからの低いクロスを相手に決められ失点。消耗した選手を次々に交代したり、DF 高木を FW にし、パワープレイを試みたりなど、手を尽くすが結果は虚しく敗戦。昇格が遠のく。

【第4戦 9月20日御殿下 ○ 5-0(2-0) 東京外国語大学】

(前半) 10分に大内が縦に入れたミドルパスを久木田が取り、ドリブルして相手をおかわし、キーパーの逆を取って先制点。相手の低い位置からのフリーキックで、あわや1点となる危ない局面を迎えたが運よくバーの少し上に外れた。44分、相手の高い位置でのフリーキックを三浦がインターセプトし、森元にラストパス。これを森元は冷静に決め、非常にいいムードで前半を折り返す。主将吉田は前半途中で足首を痛めハーフタイムで交代する。

(後半) 後半開始後3分で今秋季リーグ初となる後半での得点を森元が決める。途中交代で入った後藤が35分に4点目、久木田が45分にダメ押しの5点目を決めた。最後までディフェンダー陣は気を抜くことなくやりきり、無失点。途中で久保が怪我するなどもあり、次節のメンバー構成が変わることは必至であり、一層の努力と集中が要されるであろう。

【第5戦 9月27日御殿下 ○ 4-1(1-0) 日大生物資源科学部】

(前半) 前半は入りから全力で行こうという鈴木コーチの言葉が効いたか、開始1分で古賀からボールを受けた久木田が得点。その後ほぼ東大ペースで試合を運び、前半無失点で終える。しかし、前半開始してすぐに、ボール回しのキーマン白井が肘を痛めるアクシデント。

(後半) 後半開始後しばらくは押しつ押し込まれつの攻防を繰り返していたが、19分、相手のコーナーキックがこぼれたところを8番に押し込まれ失点。嫌な空気に包まれる。34分、大内のミスパスが偶然に久木田に当たり、キーパーの意表をついたゴール。38分、古賀がねばって森元につなぎ、さらに冷静に久木田へつなぎ、久木田はハットトリック達成。さらに4分後、ドリブルで強引に持ち込みシュートで4点目。その後は東大ペースで最後まで押しきり、勝利。しかし、久木田は応援に興奮しすぎたか、2点目を決めたときに応援席へ突っ込み、まさかのイエローカードをもらう。主力メンバーの大半がイエローカードを1枚かかえた状態で上位チームとの連戦へ臨む。

【第6戦 10月4日御殿下 △ 0-0(0-0) 帝京大学】

(前半) 対帝京作戦は、「とにかくひいて守る。そしてカウンターチャンスがあればものにする」であった。試合は予想通りずっと帝京ペースであった。たまたま、クリアしたボールが久木田に当たりチャンスになる。しかし、最後まで行ききれず、前半は0-0で終わる。帝京にも決定的なチャンスはあったがこれを魂で守りきり、無失点。

(後半) 後半も帝京ペースであった。コーナーキックから2度も3番に合わされひやひやする場面もあったが懸命にディフェンスするCBの佐藤。途切れることないDFの集中力で乗り切り、貴重な勝ち点1をゲットすることができた。

【第7戦 10月11日御殿下 ○ 6-2(3-0) 成城大学】

(前半) 相手のコーナーキックもこちらのコーナーキックもあったが、どちらもチャンスにつながらない。膠着状態は31分に破られる。左サイドハーフ道喜がドリブルで相手のサイドバックをおかわし、見事にピンポイントで後藤に合わせる。これを後藤は頭できちんと決め、先制点。ここからは東大ペース。36分、右サイドのフリーキックを森元が久木田に合わせこれを決め追加点。40分、相手のキーパーのミスキックを宮川がはじいたところを久木田が反応し、ループシュート気味に決め、3点リードで前半を折り返した。

(後半) 7分、右サイドを大内が中に切り込み、後藤にスルーパス。後藤は相手DFの裏をきれいにとり、角度のないところを冷静に決め4点目。13分、吉田のスルーパスを久木田が5点目、久木田はハットトリック。ちなみに今秋季12ゴール目である。しかし、このあたりから、東大に疲れが見え始める。19分ペナルティエリアでファウルをし、PKをあたえてしまう。これを決められ、さらに、36分には追加点を許す。しかし、42分には三浦がダメ押しの1点。これで、昇格への道は近づいた。

【第8戦 10月18日御殿下 ○ 1-0(0-0) 明治学院大学】

(前半) 去年の新人戦、今年の春季、ともに大敗という因縁の敵、明治学院大学との一戦。三浦、久木田を中心に相手の裏をとるプレーやサイドを切り込むプレーを普段通りできたように思える。しかし、東大に危機が訪れる。明学の11番がボールを持って、ペナルティエリア内に侵入し、シュートを許す。しかし、GK藤安が左手を何とかのばし、コーナーキックに逃れた。一進一退の攻防を繰り返して前半

終了。終了間際、怪我で三浦は後藤と交代。

(後半) 東大は 8 分の道喜と久保の交代を皮切りに、10 分ほどで、一気に 4 人交代をする。そして、28 分、東大に勝利をもたらす待望のゴール。後藤がペナルティエリアの少し外を右から内へと切り込んでいき、パスかドリブルかと思いきやまさかのシュート。これがゴールの左隅へ決まる。このあと、明学は攻勢にでて、東大ゴールを襲う。GK 藤安がボールを 6 秒以上持った、ということで、ペナルティエリア内で間接フリーキック。これを明学は直接ゴールしたが無効。明学の失態に助けられ、最後まで気合で守りきり、1-0 で辛勝。

【第 9 戦 10 月 25 日御殿下 ○ 5-1(1-0)上智大学】

(前半) 明学対帝京の結果によらず、引き分け以上ならば昇格決定。上智大学は東大に 4 点以上の差をつけて勝たなければ昇格はない。開始直後 1 分、森元のフリーキックに合わせた三浦が先制点。その後、五分五分の展開、前半リードで折り返した。

(後半) ハーフタイムで上智は温存しておいた主力選手を 2 枚一気に投入して攻勢に出る。猛攻を左サイドバック村上が幾度となくはじき返し、逆に東大にチャンスが訪れる。17 分、森元のあげたクロス久木田が決め追加点。これで東大に流れが傾く。上智にボールを支配されてはいるものの堅い守備で完全にブロック。22 分三浦からのパスを久木田が 3 点目。29 分、DF大内の裏を取られ失点。それでも東大の勢いは止まらず、36 分後半投入の加賀田がゴールを決め、さらに 44 分加賀田のアシストで後藤がダメ押し点。結果は 5-1 で快勝。

◆ 秋期リーグ戦を戦い終えて

➤ 影本浩ア式蹴球部部長(昭和 51 年卒)の言葉

この度、東京都リーグの 1 部へ昇格できたことは大変喜ばしい限りです。現役諸君の地道な努力と、監督・コーチの適切なご指導、また浅見理事長、樋口理事をはじめとするOBの皆様の物心両面からのサポートにより昇格がかなったものと思います。改めて御礼申し上げます。ここ数年のサッカー一部は昇格こそ逃したものの、常に 2 部の上位に位置してきました。上手い選手が入ってきたときだけ良い成績を収めるのではなく、組織力で常に上位の結果を収められるのが、東大サッカー部のめざすべき方向だと思っております。

➤ 胡内健一監督(平成 15 年卒)の言葉 : 関東昇格に向けて

東京都 1 部昇格という結果は、現役選手の努力はもとより、社会人・学生問わず、数多くのスタッフのご尽力があつてのものと思います。さらに、今年に限らずこれまでア式に捧げられた全ての努力の結晶であると思いますので、それらを継承しつつ、力をつけていくことができると存じます。そのための活動には、現場の強化の他に、リクルーティングやインフラ整備などが考えられます。今後ともご支援のほど、よろしく願います。

➤ 鈴木宏尚コーチの言葉

1 部昇格おめでとうございます。現役の選手・スタッフのがんばり、院生コーチの献身的な指導、暇さえあれば通って手伝ってくれ応援してくれた OB 皆さんの協力、去年まで鈴木久雄コーチと共に戦ってきた皆さんが積み上げてきたもの、とにかくひたむきに取り組める東大魂…ア式にかかわってきた全ての人達の思いが今をつくりあげたのだと自分は思います。そんな素敵な輪の中で最高の瞬間を一緒に過ごさせてもらえ本当に感謝しています。ありがとうございました。

➤ 吉田航太郎主将の言葉

1 部昇格という目標を達成した秋季リーグを終えて今感じるの、この一年多くの人に支えられてきたということです。現役とグラウンドで戦い続けていただいた胡内監督、鈴木コーチはじめスタッフの皆さん、応援に来ていただいた OB の皆さんにこの場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。1 部で戦う来年からが勝負となるア式蹴球部を、微力ではありますが私も OB として支えていきたいと思っております。

➤ 南田遼太主務の言葉

御殿下グラウンドには夜な夜なボールを蹴る幽霊が出ると(足がないのはアシからず)という話がある。私には思い当たる節が一つある。スタメンに定着するかしないかの狭間にいた私はずっと悔しい悔しいと思いつけていた。私以外の多くの部員(今までも、これからも)、その悔しさを胸にしまって応援していたのだと思う。そのアツイ思いが練習をする幽霊となって現れているのかもしれない。我々を支えてくれた LB 会の方々、そして監督、コーチ、スタッフ、部員の皆には非常に感謝しています。この場を借りて御礼申し上げます。

- 東大 LB 会を代表して：浅見俊雄理事長(昭和 31 年卒)の言葉
東京都リーグ 1 部への復帰を勝ち取った現役諸君と指導陣に、「よくやった、おめでとう、有難う、ご苦労さん」と申し上げます。しかしこれがゴールではないでしょう。さらに高い目標を掲げて、より中身の濃い準備をして来シーズンに向かっていってください。
LB 会員の皆さんも、この喜びをさらに大きいものとするために、一層のご協力と応援をお願いします。

東大-京大定期戦の記録

第 60 回東大-京大定期戦は 8 月 3 日(日)に御殿下グラウンドで行われました。
2-0(0-0)で勝利し、通算成績を 31 勝 13 敗 16 分としました。2 軍戦は○2-1、3 軍戦は●1-5 でした。

LB 会年代別チームの活動

➤ 第 16 回スーパーエイジサッカー in 刈谷

9 月 12 日(土)、13 日(日)に愛知県刈谷市で恒例の 60 歳以上の大会があり、参加しました。
12 日：対もののけ 2000 △0-0(0-0)、13 日：対 YOS(東農大 OB) ○3-0(2-0)、対京大 KIU ●0-2(0-1)
13 日の 3-0 の勝利の得点者は全て北川です(当然北川が MVP です)。なお、この勝利は刈谷の大会での 5 年ぶりの勝利でした。最後の試合は京大 OB に対し京大戦の超 OB 戦での負けのリベンジを目指したのですが、0-2 と返り討ちにあってしまいました。
また、70 歳以上のメンバー 6 人は浜松怪童チームとの合同で「ロイヤルゲーム」を同じく 3 試合戦いましたが、急造チームの悲しさ、まとまりを欠き、勝利を得ることはできませんでした。(P.8 に写真があります)

➤ 東早慶 3 大学 OB 定期戦

11 月 3 日(祝)快晴 仙川の第一生命相楽園で、早稲田、慶応との 50 歳以上の定期戦を行いました。
参加者は、合計 39 名で早慶を圧倒しました。今回の東早慶 3 大学超 OB 戦を終えて、ちょっと残念に感じているのは、50 歳代の方の参加が少なかったことです。(50 歳代：9 名、60-64 歳：11 名、65 歳以上：19 名)
このイベントは、1 日掛かりの割には個々の人の試合への出場時間は短いのですが、広い年次の人との交流、慶応、早稲田の OB との交流と、普段の試合では得られないものがありますので、“若い人”の積極的な参加を期待します。次回は 2010 年 5 月 3 日(祝)で東大 LB が幹事となりますので、今から予定に入れておいてください。(P.8 に写真があります)

➤ LB50-60 藤枝遠征

11 月 7 日(土)快晴 藤枝フットボールクラブと 20 分 6 本勝負を行い、1-8 で完敗しました。手島の先制のクリーンシュートは焼け石に水でした。参加者は 21 名。がん闘病中の杉浦(S51 卒)が名古屋から参加して、藤枝 FC、LB 全員から激励を受けました。
試合後、藤枝 FC メンバーとの寿司の山内屋での懇親会で、今年を初回として、毎年 11 月に藤枝 FC と東大 LB のホーム&アウェー方式の定期戦を行うことを決めました。(P.8 に写真があります)

➤ 2009 年ホームカミングデイ

11 月 14 日(土)御殿下グラウンドにおいて、東大ホームカミングデイの公式行事の一つとして恒例のサッカーフェスティバルを行いました。
朝 10 時からの少年少女サッカー教室は、冷たい雨のため参加者がなく開店休業でした。
雨も上がった 12 時前から年齢別に 3 チームを招待して試合を行い、日本サッカー協会の女性審判員後藤真由美さんに第 1 試合と第 2 試合の主審をお願いしました。
第 1 試合の藤枝 FC 対 LB50-60 は、1 週間前のリベンジを狙いましたが、15 分 4 本で、合計 1-5(柴

田 1 得点)で敗れました。第 2 試合の東大ダックス対 LB40-50 は 20 分 3 本で、合計 3-2(柴田 2 得点、田中 1 得点<アシスト柴田>)で勝利を収めました。

第 1 試合と第 2 試合の後、招待チームとの懇親会を山上会館で開きました。

第 3 試合の慶応 OB 対若手 LB は、30 分 3 本で、接戦を演じ最後に 1 点決めて 3-2 で逃げ切りました。慶応の若手 OB が伝統の「慶応 BRB」を再興しようと立ち上がった第 1 戦だったそうです。

若手 LB のチームであり、今回の試合のメンバーの多くが所属する“チーム Diego”は、今年度は東京都社会人リーグ 2 部 2 ブロック(全部で対等の 3 ブロック)で 13 チーム中 5 位に終わりました。このチームは他に Tokyo Metropolis League の Division 2 でも戦っています。

各種連絡事項

➤ 御殿下グラウンドの人工芝の補修が必要な状態です

御殿下グラウンドは、2004 年 3 月に現在の人工芝になって 5 年半が経過しています。無料であることから一般学生、職員の需要は高く、フル稼働が続いており、最近傷みが目立つようになってきました。

公式試合では、審判からケガ等の原因となり、試合場として不相当との指摘を受ける事もあります。

今年の秋のリーグ戦では、鈴木コーチ、現役が一部を補修して何とか日程を終えました。

学生課に申し入れをした結果、2010 年 1 月 12、13 日の 2 日間、全面閉鎖して専門業者による補修が行われる予定です。学生課としては、来年から①年間補修日を設ける②利用ルール設定③利用料金を取る等の対策を考えているようです。

LB 会としては、今後の御殿下グラウンドの補修費用(100 万円/年 1 回)の一部でもアメフト部、ラクロス部と共同負担していく方向で考えていきます。ア式蹴球部の胡内監督は、「部分補修ではごまかされず、全面貼り替えも念頭に置いた検討が必要になってくると考えられます。農学部グラウンドの使い方も含め、大学側との調整や、LB での資金集めに動く必要があると思っています」と問題提起しています。LB 会理事会ではこの問題を検討して、適切なアクションを起こしたいと考えています。

➤ 「東京大学基金」への寄付によるサッカー一部関連施設の充実、新設

- ◆ 今年度より、東大は「TODAI2000-2020 年には 2000 億円の基金へ」を掲げて活動しています。2020 年に「東京大学基金」の残高を 2000 億円にする目標です。
- ◆ 寄付目的の一つに「キャンパス環境の整備のため」があり、この目的でサッカー一部関連施設の建設(例えば御殿下グラウンドにクラブハウスを新築<注>)を特定して寄付を行う事が出来る可能性があります。5~15%は大学へ納入されますが、85~95%はサッカー一部の為に使用できそうです。
<注>90 年史「ライトブルーの青春譜」の「大学のグラウンドに観客席を(P26~30)」に詳細あり。
- ◆ 寄付者に対する特典(称号の授与、安田講堂への銘板掲示他)と、寄付金に対する税制上の優遇(個人は当該年所得の 40%まで所得控除、法人は全額損金扱い)があります。
- ◆ 今後この制度を利用して出来る事を LB 会で議論していきたいと思っています。但しこの寄付は施設費等が対象であり、年間のコーチ代等の経費には充当できないものです。
- ◆ 実際にご寄付頂ける場合には LB 会事務局にご相談ください。大学当局と個別に十分な事前協議の上進めます。(なお、大学側の基金の推進責任者は、副理事渉外本部長・杉山健一氏<S44 年卒の LB 会員>です。)

➤ LB 会の会員名簿について

今年度の事業計画の一つに、会員名簿の整備・刊行があります。8 月の理事会で議論した結果、個人情報保護の観点から、印刷物として刊行・配布することは止めるとの結論に至りました。昨今の自宅への電話による詐欺、過剰なメール、郵便物での勧誘等を考えて、刊行・配布の危険が大きすぎるとの趣旨です。

会員情報(住所メールアドレス等)の更新・整備は逐次進めています。従来通り事務局がしっかり管理し、会員からの要望に応じて必要な情報を提供することとしたいと思います。

➤ 平成 21 年度LB会費未納入の方へのお願い

現在までに、267 人、336 万円納入頂きました。昨年とほぼ同人数ですが、一昨年の 295 人(372 万円)には 20 人弱及びません。口座振替の方は 208 人と昨年より 24 人増えています。来年の 2 月に 2 回目の口座振替を予定しています。

LB 会としては、法人化後 4 年を迎えておりますが、現役への十分な支援とその他の LB 会の活動の実施を考えた時、財政基盤は未だ脆弱なものと言わざるを得ません。改めて、これまで会費をお納め頂いてない方に会費の納入をお願いします。各期の代議員の方には、是非同期の方の納入及び、口座振替手続き促進をお願いします。

会費の金額は、1 口 3 千円を 4 口以上をお願いします。

下記の銀行の振込先口座へ振り込みをしてください。

LB会の会計年度は 1 月～12 月ですので、今年度分の会費は 12 月 25 日(金)までに振り込みください。

【振込先口座】 口座名義人はいずれも“東大 LB 会”

①みずほ銀行日本橋支店(038)(普通預金)番号:2213920

②三菱東京UFJ銀行日本橋支店(020)(普通預金)番号:5125311

【会費担当者】吉澤 伸明(S50 年卒) 携帯 : 090-7395-9559 メール : aya8423@opal.dti.ne.jp

➤ 2010 年 2 月までの予定

12 月 5 日(土)	13:00-15:00	LB 会理事会(学士会館)
12 月 19 日(土)	17:00-19:00	LB 会・ア式蹴球部 納会 (山上会館)
	12:30-16:30	LB 会・ア式蹴球部紅白試合(御殿下グラウンド)
1 月 9 日(土)	12:00-15:00	初蹴り会(御殿下グラウンド)
1 月 16 日(土)	11:00-15:00	ロイヤル(0-70)サッカー東西対抗戦(国立競技場)
1 月 17 日(日)	16:00-18:00	千葉大学サッカー部 60 周年招待試合・シニア LB(フクダアリーナ)
2 月 6 日(土)	13:00-15:00	LB 会理事会(学士会館)
2 月 7 日(日)	16:00-18:00	千葉大学サッカー部 60 周年招待試合・現役(フクダアリーナ)
2 月 27 日(土)	10:00-12:00	LB 会社員総会(山上会館)

➤ 90 周年記念誌「東京大学のサッカー」購入のすすめ

東都 1 部昇格を決めた現役諸君には、先輩の経験に学び、さらに上を目指してもらいたと思います。「闘魂 90 年の軌跡」には先人の経験が記録されています。例えば 10 年前の 2000 年に 2 部優勝を果たし 1 部昇格したものの、2001 年は 1 部で 8 位となり自動降格となりました。LB 会員で未購入の方はぜひご購入ください。

申し込みと代金の振込先は次のとおりです。1 セット 5,000 円、送料 LB 会負担で郵送します。

申し込み先:東大サッカー史研究会 メール : rekishi@lbsoccer.org

振込先:三菱東京UFJ銀行日本橋支店(020)(普通預金) 番号:5125311 東大LB会

➤ 訃報

前回の LB 会報発行以降にお亡くなりになったとの報に接しました方は、以下の通りです。ここに謹んでお知らせするとともに、衷心より、哀悼の意を表します。(敬称略)

卒年 昭和 19 年 齋藤 賢吾 ご逝去日 2009 年 9 月 15 日

以上



刈谷 後列:(本部の人の牛の着ぐるみ)、小原、清木、佐藤、小林、武田
 中列:戸井、八林、畔柳、渡辺、藤井、石田、小西、樋口、中尾
 前列:梅村、西野、北川(MVP 賞)、中島、折原、川辺 (9/13 刈谷市総合運動公園)



東早慶 後列:藤井、鍋島、小西、佐藤、手島、堀井、大塚、福田、桜井、黒沢、柴田、上妻、清木、藪内
 中列:香山、吉崎、戸井、嶋田、高嶋、小林、梅村、石田、岸戸、八田、加川、石光、池森、畔柳
 前列:樋口、熊谷、中島、川辺、折原、山本、西野、渡辺、坂井、松下 (11/3 第一生命相樂園)



藤枝 FC と LB50-60 LB 後列:山中、南谷、吉澤、岡田、岸戸、田中、池森
 LB 中列:小川、佐藤、潜道、杉浦、金丸、樋口、小西
 LB 前列:上妻、手島、渡辺、北川、中尾、戸井 (11/7 藤枝総合運動公園メインスタジアム)